

平成15年度 山田中学校総合的な学習「友愛タイム」計画

(1) 学校・学年テーマ

学校テーマ	「郷土で学び、生き方について考えよう」		
学年テーマ	1年生	2年生	3年生
	郷土について学ぼう	郷土で体験活動しよう	郷土で学んだことを生かそう

(2) 活動の系統と内容および時数予定

系 統	分 野	1年生		2年生		3年生		
		内容および「総合」時数		内容および「総合」時数		内容および「総合」時数		
A 事 前 学 習	基礎講座 (4月)	(1)オリエンテーション (4/11)全校実施 (2)課題の設定 (3)取材・情報収集の仕方 *人に会う、見学に行く、 電話する、手紙(依頼文・ お礼状等)を書く・礼儀等 (4)機器の操作(記録等) *デジタルカメラ・ビデオ カメラ・テープレコーダ ー等の操作など (5)機器の操作(まとめ 方) *まとめ方の種類、OHP ・パソコン・ソフトの操 作、レポートの書き方等 (6)発表の方法 *紙上発表・プレゼンテー ション・実演発表等につ いて		(1)オリエンテーション (4/11)全校実施 (2)課題の設定 (3)取材・情報収集の仕方 *人に会う、見学に行く、 電話する、手紙(依頼文・ お礼状等)を書く・礼儀等 (4)機器の操作 *デジタルカメラ・ビデオ カメラ・テープレコーダ ー・OHP・パソコン等 の操作とまとめ方など (5)発表の方法 *紙上発表・プレゼンテー ション・実演発表等につ いて		(1)オリエンテーション (4/11)全校実施 (2)課題の設定 (3)取材・情報収集の仕方 *人に会う、見学に行く、 電話する、手紙(依頼文・ お礼状等)を書く・礼儀等 (4)機器の操作・発表の方 法 *デジタルカメラ・ビデオ カメラ・テープレコーダ ー・OHP・パソコン等 の操作とまとめ方 *紙上発表・プレゼンテー ション・実演発表等につ いて		
		前 期	学校行 事を主 体とし た学習	28	職場体験学習(4~6月)	27	修学旅行(4~6月)	30
		中 心 活 動	郷土	かかし祭り(7~9月) *郷土や農業についての学 習を含むかかし作りの一 連の時数	かかし祭り(7~9月) *郷土や農業についての学 習を含むかかし作りの一 連の時数	かかし祭り(7~9月) *郷土や農業についての学 習を含むかかし作りの一 連の時数	かかし祭り(7~9月) *郷土や農業についての学 習を含むかかし作りの一 連の時数	かかし祭り(7~9月) *郷土や農業についての学 習を含むかかし作りの一 連の時数
後 期	テーマ 学習	個別(グループ別)学習(10~12月) *学校テーマをもとに個人テーマを設定し、コース編成を行い、個別(グループ別)学習を行う。 時数 全学年(26) *後期のオリエンテーションから全体発表会・自己評価までの時数						
C 短 期 活 動	生き方・ 進路	(1)創立記念講演(5/2) (2)職業について知る (10/30) *高校説明会と同日単独実 施		(1)創立記念講演(5/2) (2)上級学校について学ぶ (10/) (3)高校説明会(10/30)		(1)創立記念講演(5/2) (2)高校説明会(10/30)		
	環境	(1)校外美化活動(11/21)()		(2)落ち葉拾い(2/6)()				
総時数		85		85		85		

B 中心活動（抜粋） 中期活動計画（かかし祭りへの参加）計画

時	過程	学 習 活 動	活動場所	留意点など
1 2 3 4	課題を見つけて調べる段階	<p>1 山田の里かかし祭りについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかし祭りを中心に何を調べることができるか考える。 ・かかし祭りから見えてくるものについて、様々な視点で調べてみる。 <p>かかし祭りから何が見えてくるか（例）</p> <p>・作文 ・ 図画作品に取りかかる。</p>	各学年教室 図書館 パソコン室	例年のかかし祭りの様子を知る。
5 18	課題を考える まとめ	<p>2 どんなかかしを作るか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかしのテーマ ・必要な材料 ・ 必要な道具 ・大きさ（寸法） <p>3 材料の準備～作製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の調達 ・これまでに収集した資料，考えたことをもとに作品を創作する。 ・作文・図画作品を完成させる。 	各学年教室 各種教室	<p>作文・図画の担当者と、かかし作りの担当者を分ける方法もある。</p> <p>身の回りのもので利用できるものがないか探してみよう。</p> <p>けがに注意</p>
19	生かす段階	<p>4 作品を山田の里かかし祭りに出品する。</p>	展示場	<p>展示の際には受付をして出品票を取り付ける。</p> <p>他の作品を見学する。</p>
20	振り返る	<p>8 かかし祭りの反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品したかかしの撤収及び学校への展示。 ・反省・自己評価をする。 ・文化祭に出品する。 	各学年教室	・自己評価シート

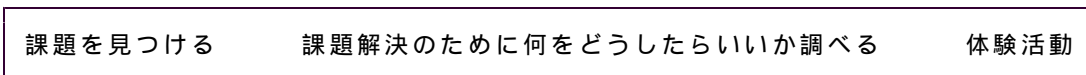
後期オリエンテーション資料

1. 活動期間

11月から12月にかけての計 26 時間

2. 総合的な学習(全体)のねらい

- (1)自ら課題を発見し、問題を解決する能力を育成する。
- (2)問題解決に向けての主体的・創造的な態度を育成する。
- (3)自己の生き方への自覚を形成する。



↓
ものごとを自分から考え、行動し、解決することができるようになる

前期・中期の活動を生かして

- 後期の活動では、前期と中期の活動で身につけた知識や技術を生かして、学習を進めます。
- 各自が学校テーマに沿った個人テーマを決め、それをもとに学年を解いてコース分けをします。(大きく3つに分類)
- 各コースの中で小グループごとに学習活動を進めていきます。

3. 後期の活動の観点

課題の設定	学校テーマにそって、自分なりの課題を見つけることができるか。
問題解決への意欲	課題解決までのいくつかの問題を、意欲的に解決しようとしているか。 他の人と協力したりできるか。
情報整理・処理の能力	必要な知識・情報・技能を取り入れ、それらをうまく活用しているか。 調べたり、体験したりするときの準備・後始末などがしっかりできるか。
報告や発表の表現力	調べたり、体験したりした内容を、適切な方法で発表し、伝えることができるか。工夫や努力が見られるか。

4. 活動予定

後期の学習オリエンテーション(体育館)

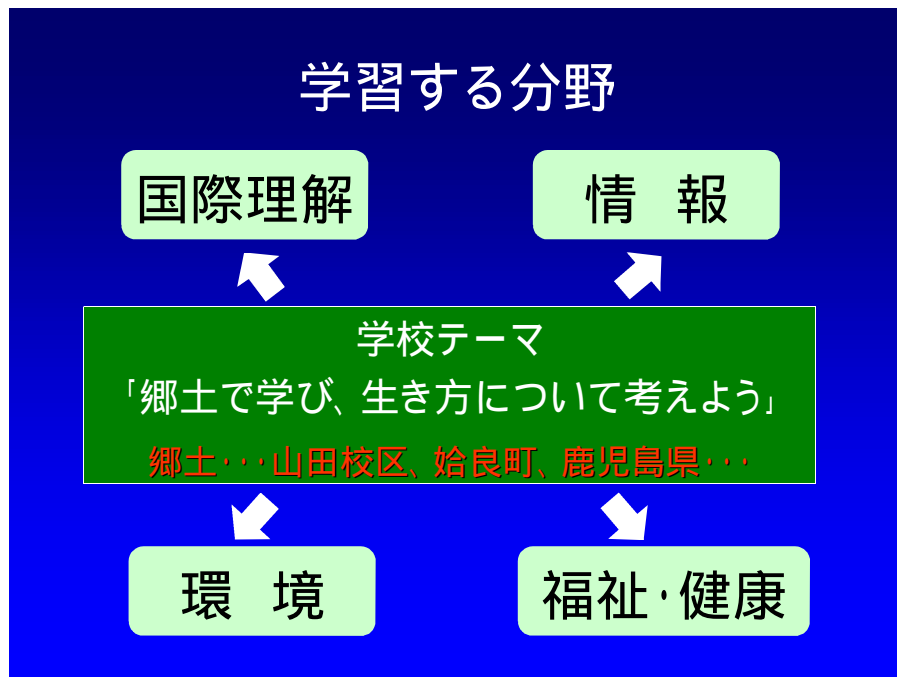
- 学年を解き、コース制をとります。***コースの数は3程度とする。(平均20人前後)**
- 各コースに2人ずつ(希望者の数によっては3人)担当教師がつき、活動の評価も行います。
- 担当の先生方

各コース担当7名	パソコン室常駐1名	図書館常駐1名
----------	-----------	---------

- 生徒1人1人が希望する個人テーマを決めます。

***学校テーマにそった個人テーマであること。**

学校テーマ
「郷土で学び、生き方について考えてみよう」



* 基本的にはこれらの分野に関わる個人テーマを設定します。

「郷土・生き方」につながり、いずれかの分野に関わりのあるテーマを設定します。

* 「総合的な学習ガイド&スキル」の2ページ～19ページを参考にしてみよう。

個人テーマをもとに、コース分け

オリエンテーション後半に個人テーマを考え、2時間目以降に調整・決定します。(予定)
決まったコースを発表し、ホーム教室でスタートします。

学習スタート

時間割の変動もありますが、基本的には午後の時間に多く入ります。

個人テーマの設定(1人の活動か、グループ中心の活動か)

テーマをもとにした個人(グループ)活動計画の作成

活動(調べ学習・実験・外部へ出かける・見学・製作・実習
・聞き取りなどの体験を)

記録・まとめ(まとめ方にはどんな方法があるか調べてみよう)

発表(発表の方法にはどんなものがあり、自分の活動を知らせるためにはどんな方法が
よいか) *学年や内容にふさわしい形を考えて工夫しよう

評価(前期・中期のような「自己評価シート」の他に、後期には毎時間の活動を
まとめて担当の先生に提出する「ポートフォリオ」を活用します。)

小学校時代や
昨年度までの活動を
思い出して、それと
は違ったものにし
てみよう。

- 1 1月下旬から12月上旬の間で1日(1~6限)学習日を設けます。
 - ・学校外での見学・体験・調査活動などを中心に、普段できないような活動をしよう。(もちろん学校内の活動・調査・まとめの時間にしてかまいません)
 - ・外部の人と接触(電話をしたり会ったり)するとき・した後の態度・あいさつなど気をつけよう。

- 12月19日(金)3~6校時に発表会予定
 - ・発表の方法や時間・内容については、全コースの発表内容によって変わります。

5. 学習形態

- ・授業の開始は必ずホーム教室で担当職員が出席確認を行います。
- ・パソコン室や図書室の使用は授業終了10分前までとし、ホーム教室に戻ります。
- ・パソコンは各コースで平等に使用します。

- *備考
 - ・総合的な学習にかかる費用(交通費・講師に来ていただくときの謝礼・材料費など)は、町補助金から支出します。
 - ・授業終了10分前にはホーム教室に戻りポートフォリオに記入します。
 - ・使用道具(マジックやOHPシート等)は担当職員で用意します。
 - ・今年度のポートフォリオは一括配布式とします。(コース決定後)
 - *今年度の学習内容や発表の様子をホームページで発信することを予定しています。
 - *通知表への評価記入は3学期末に行います。

「友愛タイム」後期の個人テーマ

年	氏名
---	----

学校テーマ
 「郷土で学び、生き方について考えてみよう」

人数調整もあるので、いくつか考えてみよう。

山田中学校総合的な学習「友愛タイム」 後期（11～12月）活動計画

時	過程	学 習 活 動	活動場所	留意点・教材・人材等
1	課題を見つめる段階	1 オリエンテーション（全体） ・後期学習の意義やねらいについて理解する。 2 個人テーマの構想を持ち、カードに書いて担任に提出する。 ・個人で追求したいことを端的に書く ・授業で持った問題意識や日常生活での疑問をもとに追求する内容を考えながら個人テーマの構想を持つ。	体育館	前期学習で学んだことを生かそう。 前期での活動をさらに生かしたり，広げたりしよう。 後期はどんなことを学習したいか考えよう。 ・教材 スキル&ガイド
課外		（教師活動） ・個人テーマを分類し，コースを設定する。大きく3つのコースに分け、各コース担当教師が2～3人、パソコン室図書館専属が1人つく。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">Aコース</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">Bコース</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">Cコース</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">PC専属</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">図書館</div> </div>		
2		3 自分の配属されるコースを知る。 4 コース内でのオリエンテーション ・担当教員の説明を聞く。 ・ポートフォリオの配布と学習活動の進め方 5 個人テーマを設定する。 ・コース内で同じようなテーマを設定している生徒どうして集まり，追求する内容が同じであればグループテーマを設定する。 ・コース担当の指導者と相談して，学習カードに個人（グループ）テーマとその設定の理由等，具体的な活動内容をまとめる。	各ホーム教室 各ホーム教室	追求したいことを具体的に考えよう。 どこに行って何をするかしっかり考えよう。 どのような形で発表するか考えよう。 ・教材 スキル&ガイド
3	}	6 学習計画を立てる。 ・個人（グループ）テーマの追求に必要な活動をあげる。 ・時間配分を考える。		・教材 スキル&ガイド
4		・内容に応じた活動場所を考える。		・ポートフォリオ

時	過程	学 習 活 動	活動場所	留意点・教材・人材等
5 }	課題を調べ・考える段階	7 各自の計画に基づいて活動する。 ・各時間の終了時には、活動内容や活動場所、必要な用具等ポートフォリオにまとめる。 ・調べた内容はポートフォリオに保存していく。 ・ポートフォリオは毎時間担当教員に提出し、指導助言を書いてもらう。 ・活動の変更等がある場合にはポートフォリオに計画修正をして担当教員に提出する。	各ホーム教室 パソコン室 図書室	・教材 スキル&ガイド ・ポートフォリオ 外部へ連絡する際の 礼儀作法などを確認 しておこう。 ・校外学習届け
10		8 体験活動を行う。 ・校外学習 ・校内学習 ・近辺学習 等活動内容によって活動場所が違うので事前に別紙にて体験活動計画を作成する。	校外 校内	校外学習の交通手段 の手配をしよう。 ・校外学習カード携帯 校外学習では安全に 活動しよう。
17 }	課題をまとめる段階	9 体験活動の反省 ・お礼状の発送等	各ホーム教室 パソコン室 図書室	様々な発表方法があるので、意図した発表が行えるように各コースで工夫しよう。 ・教材 スキル&ガイド ・ポートフォリオ
18		10 これまで学習した内容のまとめ ・これまで学習した内容や収集した資料、考えたこと、疑問に残っていることをまとめる。 11 発表方法を考える。 ・これまでの学習で考えたこと、思ったことを伝えられるように発表の内容を考えたり、工夫した発表の方法を考える。		
19 }	生かす段階	12 発表会の準備をする。 ・掲示の資料の準備をする。	各ホーム教室 パソコン室 図書室	
21		13 発表会のリハーサルを行う。	各ホーム教室	
22 }	振り返る段階	14 発表会に参加する。 ・各グループの発表	体育館	・パソコン ・プロジェクター ・ビデオカメラ ・教材 スキル&ガイド ・ポートフォリオ
25		15 活動の自己評価を行う。		
26				

後期活動の確認事項（抜粋）

1. 校外での活動（特設校外学習日）について

- (1) 校外での学習活動を行う場合には、別紙 で目的・日程・参加者名・交通手段・引率者がつく場合には引率者などについて届けてください。また、見学等の行き先には別紙 の依頼文書を届けてください。 *生徒の記入や表現に不十分な点がないかチェックをお願いします。
- (2) 校外での活動については、給食の調整も必要なので、時間・生徒名などをお知らせください。
- (3) 校外で活動する際、担当の先生がつけない場合には、生徒に集合時間ほかの諸注意をしてください。（校外学習カード（別紙 ）を配布してください）

2. 予算について

交通費については、友愛タイムのための打ち合わせ・調査・見学・実習などにバス・JR等を利用した場合に支給します。その場合には別紙 に次の点について記入するようにしてください。基本的には校外学習日の分ですが、やむを得ずその日以外に利用した場合にも支給します。（ただし人数や金額によっては全額の支給はできない場合があります）

氏名

友愛タイムのコース

利用した日時

利用した交通機関

行き先と利用区間

金額

（可能であれば領収書をもらうようにしてください）
*本人が利用した分についてのみ支給します。

3. まとめ・発表について

- (1) まとめ方・発表のしかたについては、ガイド&スキルも参考にして、各コースやグループで学習した内容を発表するのに適した方法を検討してください。

発表可能な方法の例（図書館にも資料があります）

広幅用紙などを使う（前に出て発表）

掲示（文化祭の展示のときのついたてを使用）による発表（前に出ない発表）

メディアの活用（ビデオ・音声・スライド等）

パソコンを使用（プロジェクターで投影）

実演など

ホームページによる発信

*各コースの全グループが発表するとなると、時間が足りませんので、いくつかしぼることも必要かと思います。（例：コースの中で一次発表会を開くなどして選ぶ・掲示発表でよいところは掲示に割り当てて、それ以外のところが当日発表する など）

*発表の時間は各コースの人数の割合で決めることも可能です。発表の形態や発表するグループ数がわかりましたら別紙 でお知らせください。生徒記入でかまいません。

- (2) まとめ・発表に必要なもの（消耗品・機材等）がありましたらお知らせください。

4. その他

- (1) 評価については次の3つの方法をとります。

毎時間ごとのポートフォリオ（生徒の毎時間の自己評価・記録）

教師用評価シート（担当の先生方が、その生徒の活動の様子などについて気づいた点などを記録しておくカード）

生徒の最終自己評価カード（12月19日（金）の発表日の最終時間に自己評価を行い、それを受けて各コースごとの評価を実施します）

*評価は3学期末の通知表に記載します。最終的な評価を個人カードに転記して担任の先生にお渡しください。（すべての観点に評価をするわけではなく、その生徒の特に顕著な面を具体的に記述していただいて結構です。）

*個人カードは後日お渡しします。

- (2) 次年度の活動の参考として、活動の様子を撮影をしますのでご了承ください。

12月9日の校外学習日について（補足）

交通事故等に気をつけ、学校の授業の一環であるという自覚を持って、活動すること。
校外活動カードを遊び半分で過ごさず、有意義な学習活動にすること。

（1）行き帰りについて

学校出発（はじめにホーム教室で確認・諸注意などしてから）

*** 自転車を利用する場合は必ずヘルメットを着用すること。自転車通学でない人が自転車を利用する場合には、ヘルメットを借りるなどする。**

目的地に着いたときと、移動のときや終了して帰る前には必ず学校へ連絡すること。

*** 電話代やテレホンカードを準備**

例「山田中 年の 月 日 です。今・・・に着きました。これから午前中いっぱい活動します。」

例「山田中 年の 月 日 です。今・・・での活動が終わったので、次の・・・へ移動します。」

例「山田中 年の 月 日 です。今・・・での活動が終わったので、 時 分のバスに乗って帰ります。」

終了時は学校集合（16：00までにホーム教室へ）

ただし16：03着のバスで帰ってくる生徒がいる場合はそれを待ってから各コースごとに終了

（2）交通手段について...徒歩・自転車・保護者の車・バス・タクシーなど

バス時刻（4月現在）

実際に利用する生徒は各自で再度確認をすること。

	山田発（帖佐方面）	山田着（小学校前）
	7：42	8：23
	9：35	13：28
	14：42	16：03
	17：22	18：03

タクシー（バスの時間が予定と合わない場合などに利用）

始 発	行き先と片道のおよその料金	
山田小前	始良町役場 町立図書館 歴史民俗資料館	およそ 1800円 (距離的には同じくらいだそうです)(H14の金額)

交通費は先に自己負担（立て替え） 領収書をもらえるところからはもらっておく

*** かった交通費のうち一部しか支給はできないので、そのつもりで。**

（3）その他

昼食を学校外でとる際は、基本的に弁当持参すること。公共施設で昼食をとる場所は、許可を得てから。

弁当以外の飲食物は持って行かないこと。また、行った先で買い物等しないこと。

腕時計は持って行ってもよい。ただしそれ以外に不要なものは持って行かない。

カメラが必要なときは各班の代表者が届けること。写真撮影は場所によっては制限もあるので、指示に従うこと。

* 学校のデジタルカメラは4台です。それ以外に必要な分は使い捨てカメラを購入します。現像料も経費として出しますが、カメラに必ず名前を書いておくこと。

次の時間から「まとめ～発表の準備」にすぐに取りかけられるようにしておくこと。

12月9日(火)校外学習日の日程

時間	生徒の活動	教師の支援	留意点
8:15 8:30	職員朝会で打ち合わせ 各学級で朝の会		
1校時 }	ホーム教室で校外学習の最終確認 各コース及びコース内の小グループの 活動日程や準備等を確認	「校外学習日について(補足)」を説明 する。	各コース及びグループの活動時間や行き先などの変更がないか確認する。
}	校外学習出発(校内で活動する生徒は活動開始)		
}	主な活動(調査・見学・体験・インタビュー等)の場所	各コースに複数の担当教師がつくので、 分担して各コースの生徒の行き先を巡回 する。	行き先に到着したときや学校に帰る時に 連絡をさせる。
}	・始良町立図書館		
}	・始良町歴史民俗資料館		
}	・始良町役場		
}	・学校近辺の個人宅		
}	・始良町リサイクルセンター	昼食場所を確認する。	
}	・住吉池		
}	・山田川・下名橋・山田橋		交通事故や移動中の トラブルがないよう 注意する。
}	・山田の凱旋門		
}	・水口ユキエ記念碑		
}	・西田の田の神像		
}	・帖佐駅・西鹿兒島駅		
}	・学校調理室で郷土料理実習		
}	・保健室で点字練習(外部講師の指導)		
}	学校帰着～活動のまとめ		
6校時	ポートフォリオ記入	人数確認	活動で学んだことを どのように発表する か検討させる。
16:15	帰りの会		

後期発表会計画案

1 目的

- (1) これまで見たり聞いたり調べたりした事柄を発表しようとする態度を培う。
- (2) 人の発表を聞く態度を養う。

2 日時

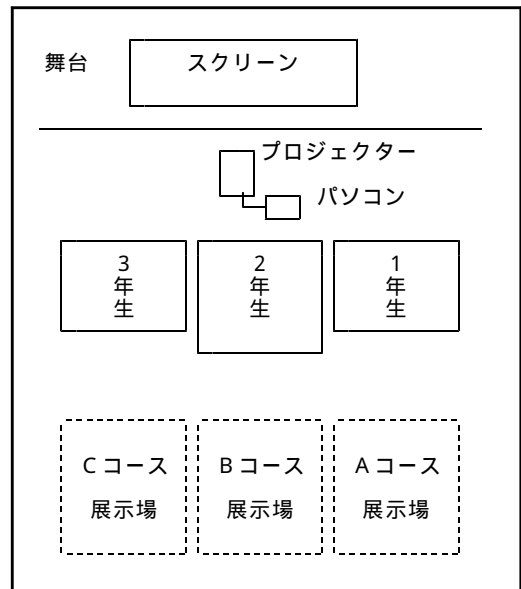
平成15年12月19日(金)2校時～5校時 *6校時はまとめや自己評価等

3 場 所

山田中体育館（配置図は右の通り）

4 発表順

2校時 3校時	<p>展示場設営（展示パネルの準備・発表リハーサル等）</p> <p>* 3校時終了前に展示作品見学についての説明</p>
4校時	<p>展示作品見学（コースごとに時間を決めて）</p> <p>小規模発表（コーナー方式）</p> <p>Aコースの説明時間 11:50～12:05</p> <p>Bコースの説明時間 12:05～12:20</p> <p>Cコースの説明時間 12:20～12:35</p> <p>各コースごとに展示作品を並べて、15分間ずつは各作品のところから動かずに、見に来た人に説明等する。職員や他のコースの生徒は各作品を見ながら質問をしたりする。</p>
5校時	<p>全体発表会（45分程度）～片づけ</p> <p>発表の諸注意</p> <p>発表（パソコンを利用した発表）</p> <p>講評</p> <p>閉会の言葉</p>
6校時	<p>発表の後始末・ホーム教室でまとめと自己評価等</p>



山田中近辺の主な教育素材マップ
平成15年12月現在

